

令和4年度の予算と事業 安心の土づくり・未来への種まき予算

問 財政課 ☎ 0538-37-4883 FAX 0538-37-4876

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内に行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。第2次磐田市総合計画後期基本計画を踏まえ「安心できるまち・人が集まる磐田市」を目指す本年度の予算を、主な事業とともに紹介します。

令和4年度予算基本目標

安心できるまち・人が集まる磐田市

予算規模の概要

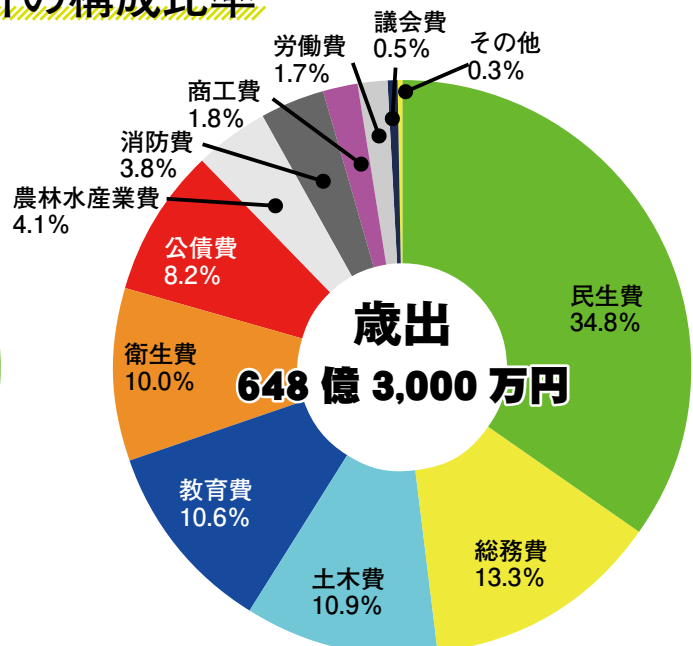
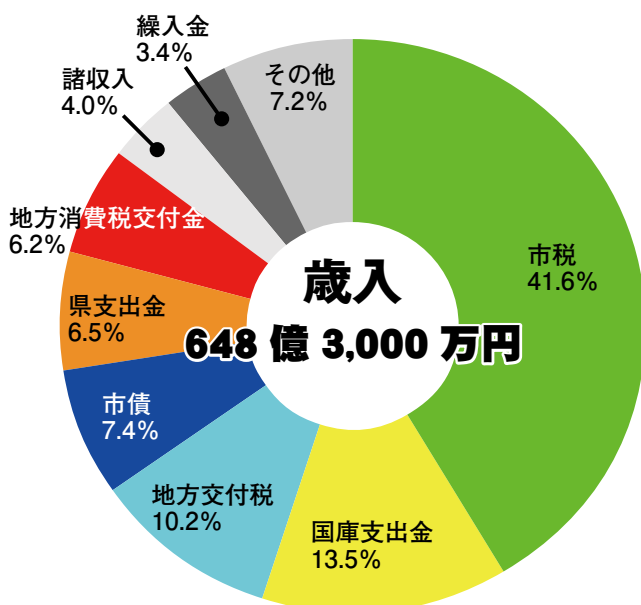
会計名	予算額	前年度比
一般会計	648億3,000万円	↓ 3.5%
特別会計 (国民健康保険・介護保険など)	325億 896万円	↑ 0.4%
公営企業会計 (水道・下水道・病院)	376億6,293万円	↑ 3.4%
合計	1,350億 189万円	↓ 0.7%

一般会計は、磐田市民文化会館などの大型事業の完了により、総額は減額となりましたが、海岸堤防の整備や公共施設の修繕など、重点的に取り組むものには積極的に予算配分しています。

特別会計は、高齢者人口の増加などによる介護保険事業や後期高齢者医療事業の増により、増額となりました。

企業会計は、大島排水ポンプ場建設工事費や汚水管渠新設工事費など、下水道事業会計の増により、増額となりました。

一般会計の構成比率



政策推進のための5つの柱

令和4年度は第2次磐田市総合計画後期基本計画がスタートすることから、計画との連動性を意識し、政策推進の柱として5つの安心を掲げています。



子どもたちの安心

子どもたちをど真ん中に据えた事業を推進し、親も子どもも未来が描ける環境づくり、たくましい若者の育成に取り組みます。



暮らしと健康の安心

年齢を重ねても、障がいがあっても、安心して暮らし続けられるよう、セーフティネット作りを進めます。



まちづくりと 防災への安心

将来に希望が持てるまちにしていくため、インフラ整備と維持管理による防災・減災対策や地球温暖化防止の取り組みを進めます。



未来と仕事の安心

10年後に向けた価値創造として、新産業の創出、創業支援の推進とともに、価値ある素材を活用して市の魅力を高めます。



安心できる 市役所づくり

市役所を何でも相談できる場所へと転換し、開かれた市政を推進します。

重点的に取り組む3つのポイント

磐田市の「未来を守る」「未来を創る」ことにつながるよう、市民が安心して暮らせるまち、市外や県外から人が集まる磐田市にするために、令和4年度において重点的に取り組むものとして、次の3つのポイントを据えています。

POINT 01

新たな視点・民間活力の導入



市と民間企業が連携し行政課題の解決や市民サービスの向上につなげる公民連携デスクの設置や、大学と連携し行政課題の研究などを推進する官学連携推進事業の実施、DXを推進するためのデジタル専門人材の活用など、市政に新たな風を取り入れます。

POINT 02

学びの機会の創出「磐田ここからラボ」



市民向け講演会を充実させることや、市内公立小中学校では子どもたちの未来への夢や可能性を広げていくための礎となる活動を実施します。また、社員の学びを応援する中小企業などを支援します。

多様な学びにより市民・事業者・行政・学校など、幅広い主体が垣根を越えてつながり、共に新たな価値を作り出すことを目指しています。

POINT 03

公共施設、インフラの維持管理「先手先手の対応」



公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化対策を計画的かつ効率的に推進することで、持続可能な公共施設マネジメントを目指します。

市役所本庁舎や体育施設、公園施設や橋梁の長寿命化をはじめ、小中学校施設の改修、上水道の管路更新、下水道施設の耐震化などを積極的に進めていきます。

主な取り組み

令和4年度磐田市当初予算の中から、「政策推進のための5つの柱」に沿って新規事業や拡充事業を中心に事業を紹介します。



子どもたちの安心

1 新たな不登校児童生徒対策 648万円

市内の不登校児童生徒が学習や体験をしたり、自分の悩みを相談したりできる居場所をつくることを目指し、第2の教育支援センター設置に向けての準備を行います。

2 こども医療費の完全無料化 9億609万円

令和4年10月から高校生年代の通院や入院にかかる自己負担額を無料にして、早期医療受診の促進や保護者の経済的負担の軽減を図ります。

3 産後ケア事業の拡充 119万円

産後間もない母親が安心して子育てができるよう、利用者のニーズなどを踏まえ、現行の訪問型に加え、宿泊型と通所型を導入するなど、より利用しやすい制度へと拡充します。

4 向陽学府小中一体校基本計画の策定 1億4,036万円

向陽学府小中一体校整備に向けて、建設検討会やワークショップを開催し、基本・実施設計を行います。建設工事に先立ち、建設地（向陽中学校）の地質調査を行います。



産後ケア事業の拡充
(イメージ)



向陽学府小中一体校建設検討会



暮らしと健康の安心

1 (仮称) 成年後見支援センターの開設 458万円

認知症などにより判断能力が十分でない人を保護・支援するため令和4年秋に^{あい}iプラザ内に開設します。

2 障害者地域活動支援センターの開設 882万円

障がい者の日中の居場所としてレクリエーション活動や部品の組み立て作業などの機会を提供することや、専門職の相談を通し地域の支援機関などとの連携を進め、障がい者の自立を支援するため、令和4年10月に開設します。

3 地域内移動手段の確保と

将来を見据えた地域公共交通計画の策定 3,310万円

自主運行バスの運行により「掛塚磐田駅線（とつか系統・千手堂系統）」の通勤や通学における移動手段を確保します。さらに、実情にあった持続可能な公共交通を目指し地域公共交通計画を策定します。

4 新型コロナウイルスワクチンの3回目追加接種 8億1,171万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、ワクチン接種を継続して実施します。



自主運行バス「掛塚磐田駅線」



ワクチン接種

まちづくりと防災への安心

1 海岸堤防整備の推進 14億7,908万円

令和8年度完成を目指し、第4次地震被害想定レベル2の津波に対応した静岡モデルによる海岸堤防の整備を推進します。

2 市役所本庁舎の長寿命化 1億5,052万円

本庁舎の機能維持・改善のため、1階の配置替えや空調・給排水設備の改修工事を行います。

3 地球温暖化対策実行計画の策定 978万円

2050年のカーボンニュートラルを目指し、地域における温室効果ガス排出量削減などに関する計画を策定します。



海岸堤防
(令和4年3月撮影)

未来と仕事の安心

1 いわた首都圏サテライトオフィス（仮称）の設置 452万円

市内企業などと首都圏の人、企業などのマッチングにより、新たなビジネスモデルの創出や連携、誘致に取り組みます。

2 新磐田市民文化会館「かたりあ」のオープン 2億4,766万円

市の歴史文化を受け継ぎ、魅力ある文化芸術の創造と発信の拠点として、市民に愛される新たなまちのシンボル施設を目指します。

3 大河ドラマを活用した交流人口の増加 574万円

静岡県が大河ドラマの舞台になることから、ハード整備やソフト事業の実施により、市の魅力をPRします。

4 スタジアム同窓会の開催 32万円

成人式を迎えた若者を対象に、地元企業の若手社員との交流とジュビロ磐田のホームゲーム観戦を通じて、ふるさとへの愛着を再認識する機会を提供します。



磐田市民文化会館「かたりあ」

安心できる市役所づくり

1 DXの推進 デジタル専門人材の登用 500万円

現場の実務に即してデジタル技術の導入の判断や助言を行うことができるデジタル分野の民間人材を確保します。

2 新たな広報の展開 414万円

誰に対しても伝わる広報とするため、多様な媒体・手法を活用したさらなる情報発信力の強化を行います。

3 小規模多機能自治の推進 1億1,545万円

シンポジウムの開催や住民アンケートの実施など、地域づくりの考え方を市民と共有する場を設けるとともに、地域づくり協議会の取り組みを支援します。



小規模多機能自治シンポジウム
(イメージ)